

# ながせ商店街の歴史

ながせ商店街のある長瀬本町通りは明治20年（1887）に下街道が付け替えられた道路です。それ以前の下街道は土岐川北岸の堤防沿いの道でしたが、少しの出水で冠水し流されてしまうため、その都度沿道の長瀬村・中之郷村・池田町屋村は修繕を余儀なくされていました。

中央線が明治33年（1900）に多治見まで開通すると、駅へ通ずる道として長瀬本町通りは栄えました。大正11年（1922）には運送業者が多く見られますが、年代を経るごとに生活用品や生鮮食品、文化劇場などの娯楽施設が徐々に増え、現在のように周辺に住む人々の暮らしを支える商店街へと発展していきました。

## 昭和54年ながせ商店街の様子

（「ゼンリン住宅地図岐阜県多治見市'79」より作成）



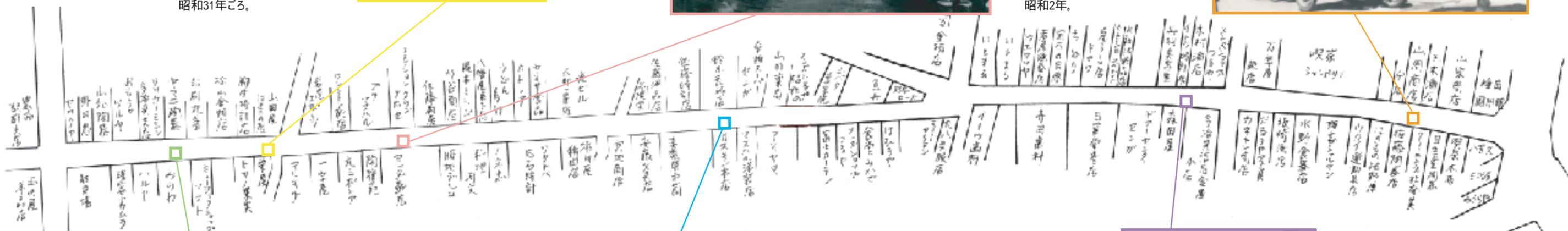
下駄屋の時代の竹の子の前で、昭和31年ごろ。



豊岡劇場(文化劇場)のアーチ。昭和40年ごろ。



山周商店前で。馬車とオート3輪。昭和2年。



昭和27年ごろ。ヤマニ陶器前。七夕まつりの賑やかな飾りつけ。



昭和30年代半ば。右手にカネキンが見える。



昭和9年。本町4丁目より東を望む。右手の大きな建物は現在の東濃信用金庫。

郷土のことについて調べるなら

# 郷土資料室へ

地元に関する資料や市民の皆様から寄せられた文書や記録などを整理し保管しています。保管資料は利用者の方の調べ学習・研究などにもご利用頂けます。地域の歴史に関するご相談は、郷土資料室までお問合せ下さい。市民の皆様からの郷土資料のご寄贈や情報の提供も募集しております。

多治見市図書館郷土資料室

【場所】 多治見市豊岡町1-55 まなびパークたじみ4階 JR多治見駅より徒歩5分

【電話】 0572-23-3783 【開室時間】 火～土曜日 10時～17時(日・月・祝日・年末年始は休室)

図書館とは開室日・時間が異なりますのでご注意ください